

平成30年度環境保全報告書

前田道路株式会社
神戸合材工場

平成29年度、当工場は以下4点を基本方針とし、環境保全に取り組んだ。

本年度当工場基本方針

- 1.法律・規制の遵守
- 2.生産過程の省エネルギー化
- 3.再生資源の積極的利用
- 4.教育による意識改革

前述基本方針2及び3の内容を受け、以下2点を重点管理項目とした。

重点管理項目

1. アスファルト合材製造過程で使用するエネルギーは主に重油と電気である。これらの使用量を日々集計管理し、その削減に努め、大きな省エネ効果を期待する。
2. アスファルト合材製造の材料として、アスファルトガラを砕いて再生資源化した再生骨材を積極的に使用し、日々集計管理によりその増加に努め、リサイクルを推進する。

雨天等の天候に影響を受け、主材料である骨材の含水量等に影響した為、本年度の燃費目標は達成できませんでした。骨材を濡らさない、使用前に乾燥を目的とした骨材の天日干し等を再度実施して、燃費低減に努めます。一方、電力に関しては、ヒーター等の設定温度を製造に影響が出ない程度まで下げた事で、目標を達成することができています。

削減項目	平成30年度計画目標数値	平成30年度実績数値
重油使用量	8.50 /製造1t	8.80 /製造1t
電力使用量	8.90 KWH/製造1t	7.70 KWH/製造1t

	平成29年度計画目標数値	平成29年度実績数値
再生骨材使用量	50%	56%

基本方針1については、ばい煙測定を資料の通り行い法定値及び目標値のクリアを確認している。

規制法	規制対象	必要設備	規制値	目標値	実数値
消防法	一般取扱所	油水分離槽	-	油流出防止	なし
大気汚染防止法	ばいじん量	集塵機	0.2g/Nm ³	0.1g/Nm ³ 以下	0.08
	硫黄酸化物量	低硫黄燃料	2.4Nm ³ /h	2.0Nm ³ /h	0.98
	硫黄酸化物濃度	低硫黄燃料	230ppm	80ppm	33
	窒素酸化物濃度	低NOXバーナ	230ppm	30ppm	18

基本方針4について以下のように計画し、実施した。

実施項目	実施内容	目標値	実績値
安全	災害防止協議会を実施し、協力会社、仕入業者含め安全について考え協議を行う。	1回/月	1回/月
環境	環境検討会を実施し、前田道路・協力会社職員で環境について検討会を行う。	1回/月	1回/月

令和元年度環境保全計画書

○
○

前田道路株式会社
神戸合材工場

環境理念

前田道路は『経営理念』の精神に則り、環境問題を企業の社会的責務の中の重要な課題と認識し「人と環境に優しい道路づくり」のスローガンのもと、環境への負荷を低減し持続的発展が可能な社会を形成する事に貢献すべく環境への配慮を組み入れた事業活動を展開する。

又、環境理念に基づき以下の3項目を事業活動の柱として全社的に定められている。

- 1.地球温暖化防止策防止策としてCO2排出量の削減
- 2.循環型社会形成を目指したリサイクル事業の推進
- 3.環境配慮型技術の開発

以上から当工場は、技術的・経営的に可能な範囲で地球環境・地域環境への影響を配慮した事業活動を行うべく以下4点を本年度の基本方針とする。

工場基本方針

- 1.法律・規制等の遵守
- 2.生産過程の省エネルギー化
- 3.再生資源の積極的利用
- 4.教育による意識改革

環境保全計画

工場基本方針1

各法規制を遵守する。特に油流出・粉塵防止が作業上の大きな課題であり以下2法について次表の目標を定め、大気汚染防止法については年2回行う煤煙測定において数値を確認する。

規制法	規制対象	必要設備	規制値	目標値
消防法	一般取扱所	油水分離槽	-	油流出防止
大気汚染防止法	ばいじん量	集塵機	0.2g/Nm ³	0.1g/Nm ³ 以下
	硫黄酸化物量	低硫黄燃料	2.4Nm ³ /h	2.0Nm ³ /h
	硫黄酸化物濃度	低硫黄燃料	230ppm	80ppm
	窒素酸化物濃度	低NOXバーナ	230ppm	30ppm

工場基本方針2 重油・電気使用量削減による省エネ促進(重点管理項目)

工場基本方針3 再生骨材使用によるリサイクル促進(重点管理項目)

工場基本方針4

従業員や仕入業者の防災・環境意識の高揚を目的に、以下の項目を実施事項とする。

実施項目	実施内容	目標値
安全	災害防止協議会を実施し、協力会社、仕入業者含め安全について考え協議を行う。	1回/月
環境	環境検討会を実施し、前田道路・協力会社職員で環境について検討会を行う。	1回/月

重点管理項目

当工場は本年度の環境に係わる重点取組目標を以下の2点とする。

- 1.アスファルト合材製造過程で使用するエネルギーは主に重油と電気である。これらの使用量を日々集計管理し、その削減に努め、大きな省エネ効果を期待する。

削減項目	目標数値	実施事項
重油使用量	8.6ℓ/製造1t	使用量日々管理表の作成 合材サイロの有効活用 出荷効率の改善
電力使用量	8.1KWH/製造1t	ヒーター温度管理 適正温度での出荷

- 2.アスファルト合材製造の材料として、アスファルトガラを破碎して再生資源化した再生骨材を積極的に使用し、日々集計管理によりその増加に努め、リサイクルを推進する。

	目標数値	実施事項
再生骨材使用量	50%	使用量日々管理表の作成 投入設備の整備 投入当番の設定